

平成28年度函館市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成28年度の給水人口は、前年度に比べ3,051人減少し263,344人となり、給水普及率（給水区域内人口に対する給水人口の割合）は99.9%となった。

また、水道1日平均給水量は、前年度に比べ546立方メートル減少し、91,954立方メートルとなり、温泉1日供給量は、前年度に比べ56立方メートル増加し、3,906立方メートルとなったほか、年間販売電力量は、10月から売電を開始し、705,056キロワット時となった。

事業収益については、長期前受金戻入や売電事業営業収益の増加等により、前年度に比べ190,797,932円の収入増（4.2%増）となり、総額で4,760,387,501円となった。

事業費用については、資産減耗費や売電事業営業費用の増加等により、前年度に比べ65,307,111円の支出増（1.6%増）となり、総額で4,274,686,645円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ125,490,821円増加し、485,700,856円の純利益を生じた。

建設改良事業については、原水及び浄水施設事業では赤川高区浄水場機械設備の更新等を、配水施設事業では配水管整備事業等を、簡易水道施設事業では簡易水道施設監視制御システムの更新等を、温泉供給設備事業では温泉供給管の布設替工事等を予定どおり施行した。

このほか、今後の水道事業について、目指すべき方向性を明らかにし、望ましい姿に向けた取組を示す指針として、平成29年度からの10年間を計画期間とする「函館市上下水道経営ビジョン」を、平成29年3月に策定した。